

○東京府下ニ於ケル罹災社会事業團體調

(總務部調)

- 研究機關四、後援機關四、軍人遺家族救護五、
- 宿泊救護及職業紹介所一四、授産事業一、
- 公益質業三、簡易食堂七、日用品廉價供給所二、
- 住宅供給七、相談事業三、施療事業二〇、
- 實費診療所三、隣保事業七、免囚保護事業一、
- 貧兒教育一〇、幼見保育一三、盲人教育及其団体三、
- 戦時救濟事業一、慰安事業二、動物保護一、其他九、

計一三〇

内官立二、公立一四、私立一〇二、工場施設二、

市外ニ公設市場一八

東京市方面委員
人妻相談所二〇

其詳細別紙ノ通り

0569

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

震災社会事業団体調

△研究機関

日本大学、社会事業協会、日本弘道会社会教化学院
佛教徒社会事業研究会、

△後援機関

森村豊明会、萬年会、東京児童養護学会、安田修徳会

△軍人貴族家族救護

芝区兵士義会、報效会、下谷区兵士義会、津島区兵員慰
勞義会、本所区徴兵慰勞義会、

△宿泊救護及職業紹介

救世宣月島労働室初念、因箱船屋及職業紹介所、東京市法
草職業紹介所及宿泊所、無料宿泊所及江東職業紹介所、野
保育所(合)、洋業労働共済会、宿泊所及職業紹介所、東

京市本所簡易宿泊所、及労働組合所、東京府職業紹介所、東京基督教青年会職業紹介部、東京市中央職業紹介所、東京市上野職業紹介所、東京市板橋職業紹介所、日本橋区役所出張所、京橋区役所出張所、労働奨励会

△授産事業

鉄道青年会救済部

△公光奨励事業

赤坂藏屋公益奨励事業、才二同上、才三同上

△簡易食堂

神田慈善協会簡易食堂、神聖労働簡易食堂、東京市上野食堂、今神田橋食堂、今太平町食堂、国坂本所食堂、平民食堂

△日用品産廉供給所

十一武藏屋分店今戶武藏屋、十二武藏屋、

△住宅供給

辛亥救災會、日暮谷里十住宅、東京建築信用購買利用組合、
東京市特殊小學校後援會橋場長屋、田玉姬長屋、月島中堂
住宅、深川猿江震所下八トメント

△相談事業

東京府社会事業振會日暮谷里方面人事相談所、芝区私立衛生
会乳児相談所、東京市方面委員人事相談所、下谷外九ヶ所

△施療事業

博愛医院、日本橋区衛生振會施療部、東京市施療病院、
聖路加国際病院、濟生會深川診療所、婦人共立育兒會病
院及乳児部濟生會浅草診療所、同友所診療所、東京
慈惠會医院、芝区私立衛生會救療部、救急軍病院、白十

字会、錦糸病院、養育会本所、産院兼乳児幼児保育所、乳児院

△実費診療所

芝口実費診療所、同浅草支部、同神田支部、京橋区
衛生会、日本赤十字社東京支部、日本橋救護所、同深川
救護所、深川聖愛医院、東京市深川救護班、佛教
廣濟会本部

△隣保事業

愛隣團、救世軍植民部、同卜谷愛隣館、東京三崎
会館(保育所兼遊園)、興望館、協潤会善隣館、勞働者
矯風会(兼保育事業)

△免因保護事業

東京出獄人保護所

△ 食児教育

東京市立万年小學校(兼夜學校託児所) 同玉姫小學校(夜學校兼營) 同三笠小學校(夜學校兼營) 同菊川小學校(夜學校兼營) 同太平小學校(夜學校兼營) 私立真龍女學校兼授産事業 同水上保護會附屬千住小學校 神田婦人會 東京市芝浦小學校(同夜學校)

△ 幼児保育

智徳會託児所 大正婦人會幼児保育所 二葉保育園 新宿分園 幸茂救済會託児所 東京市特殊小學校後援會 玉姫託児所 同情園幼乳児保育所 淺草會館託児所 東京市江東橋託児所 富士瓦斯紡績會社押上工場 保育所 陸軍糧秣本廠保育所 大日本紡績會社深川工場 託児所 東京市深川富川町保育所 万年託児場

△盲人教育及其關係

東京盲人教育會財團附屬盲人技術學校、盲人保持協會
佛眼協會本部

△戰時救濟事業

日本赤十字社

△慰安事業

商工青年慰安會、自慶會

△動物愛護

動物愛護會

△其他

橘塾、帝國公道會、助葬會、帝國水難救濟會、東京兒童
保護協會、日本國民禁酒同盟、基督教婦人矯風會、東
京第一簡易保險健康相談所

0575

東洋局

解人便後、此。九月二十日

横濱参謀長、田原ニ曰ク

貴方、陸軍ニ陸軍。陸軍素具、他關係者、

兵隊ヲ遣フ先ツ、今、軍艦兵隊、兵備者、

三百人ヲ増シ、収容（現、四十三名収容）ニ

軍式、敵入、直営トシテ、兵士ヲ遣フ

トシテ、使用スル、詔ヲ遣フ、付

年制、陸軍、実行、法、兵隊ヲ遣フ

在、貴方、結果、成績、甚ク、早、備、負、任、重、ク、

在、西、中、朝、鮮、結、核、上、所、中、韓、後、入、レ、

南、北、打、急、セ、リ、行、ヒ、タ、ル、所、結、核、府、則、

目、横、濱、収、容、後、中、解、人、勇、助、者、約

(富井納)

海 藤田 軍

模造中務十三行野紙

九月廿日

0576

八日名「華山丸」押込ノル所 横濱市民
 一解人：對ル「忠誠」東京以上ニシテ其ノ始
 末ニ至ル一折板 横濱貿易局向ケル解人
 「此方ニテ撰出ノルト取計ニシテ軍連松
 出立業務部長ト協議ト進ムヘシ云々
 任シ来ルニ二十日受授ノ協定ヲ以テ早
 備進務ノルト一折板内

忠誠

初稿

子爵菅原謙吉閣下

0576

0577

海軍 機密事項 第一号 官紙

八日名「華山丸」押込ノ昆所横濱市民
 朝鮮人：對スル悪感「東京山」ニシテ其ニ始
 末ニ多クハナリ。其ノ事、北向ケル朝鮮人
 〆ハレシム
 〆ハレシム
 〆ハレシム

朝鮮總督府秘書官兼
朝鮮總督府參事官

松村 松盛

京城倭城臺十八號官舎

遺子世用
初孫

0578

0577

軍務第五七七號

供覽

第一課長

海

藤田

軍

模造中葉十三行罪紙

田

事務局長

第二課長

田

司

員

田

林

大正十二年九月十五日

大角海軍省軍務局長

宇佐川横須賀鎮守府参謀長殿

鮮人勞務使役ニ関スル件

目下習志野ニ於テ收容中ノ鮮人約數千名ハ陸軍
官憲ノ保護ヲ受ケツ、アルモ之カ取扱ニ関シ多少遺憾

ノ点モ有之今日ニ及ヒ居候處其甚善後策トシテ相当
監視ノ下ニ勞務ニ従事セシムルヲ良策ト被存候就テ

ハ対鮮人取扱上一般ニ好感ヲ持續シツ、アル貴地ニ

金井納

0579

於ケル海軍關係豫震害復旧工事等ニ其相當數

ヲ使役セラルルハ此際或ハ概宜ニ適スル一策カト被存候
條一應御考寃ノ上何分ノ御意見兼知致度

右照會ス

追テ本封ハ陸軍側トハ未ダ交渉ヲ始メ

(伏)

長クハ以テ係中全無ニ至ル

大御

極
秘

朝鮮問題ニ
関スル協定

警備部

警備部
秘

秘

0581

極秘

鮮人問題ニ関スル協定

一 鮮人問題ニ関シテ我部ニ對スル公憲ノ採ルニキ態亦
ニ付九月五日肉俸各方面主任者事原与發信部
ニ集合取敢エズ左ノ打合ヲ為シタリ

第一内外ニ對シ各方面官憲ハ鮮人問題ニ對シテハ

左記事項ヲ事實ノ真相トシテ宣傳ニ努メ将来

之ヲ事實ノ真相トスルコト從テ(イ)一般関係官憲

ニモ事實ノ真相トシテ此ノ趣旨ヲ通達シ外部へ

對シテモ此ノ態度ヲ採ラレト(ロ)新聞紙等ニ對シ

テ調査ノ結果事實ノ真相トシテ斯ノ如ク傳

フルコト

虎記

朝鮮人ノ暴行又ハ暴行セムトシタル事例ハ多クアリタルモ今日ハ全然危険ナレ而シテ一般朝鮮人皆極メテ平穩順良ナリ、朝鮮人ニシテ混雜ノ際危害ヲ受ケタルモノ少数アルヘキモ内地人モ同様ノ危害ヲ蒙リタルモノ多数アリ、皆混亂ノ際ニ生シタルモノニシテ鮮人ニ對シテ故ラニ大ナル迫害ヲ加クタル事實ナレ、世上傳ル所ハルヲ根據ナキ流言浮説ニ過キス
第六 朝鮮人ノ暴行又ハ暴行セムトシタル事實實テ極力搜查シ肯定ニ努ムルコト尙在記事項ニ努ムルコト

イ、風説ヲ徹底的ニ取調ム、之ヲ事實トシテ出来得ル限リ肯定スルコトニ努ムルコト

口風説宣傳ノ根柢ヲ充分ニ取調ルコト

第三

第四

第五

第六

朝鮮人等ニテ朝鮮滿洲方面ニ惡宣傳ヲ爲スモノハ之ヲ内地又ハ上陸地ニ於テ適宜^確阻止ノ方

法ヲ講スルコト

第七、海外宣傳ハ特ニ赤化日本人及赤化朝鮮人カ皆

後ニ暴行ヲ煽動シタル事實アリタルコトヲ宣傳

スルニ努ムルコト

一、爾後鮮人問題ニ付各方面絶クス連絡ヲ取リ協議

ヲ行ヒ應急ノ措置ヲ進メ居リタルカ尙今後措

タリ
盟
九月十六日別紙諸侯就
キ
懷
議
遂
ケ

一ノ二

0585

爾後鮮人問題ニ付各方面ト絶えず連絡ヲ取リ
後ヲ行ヒ進急ノ措法ヲ進メ履キタルガ為今後ノ措

正ニ付九月十日右記諸項ニ就キ其後ノ進歩アリ
→鮮人問題ニ関スル事實ノ慧表

鮮人問題ニ就テハ彼等ノ不法行為及彼等ニ對スル
暴行ノ事實ニ関シ目下關係各方面ニ於テ調査
中ニ爲スト雖又事件ノ詳細ナル真相ヲ闡明スルニ
為ル者其ノ日子ヲ要スル其ノ百或世ノ種々ノ臆法
ヲ置ク或ハ之ニ関スル意見ヲ稱讃ノ行ハルモノアルニ至
ルニ付其ノ故ルニ速ニ極メテ概畧ノ事實ノ之ニ関シ
テ意見者ノ方法ヲ以テ之ヲ取ル者表シテ種々ノ疑念
ヲ一掃シ且ツ帝國ニ不利ナル宣傳風評ノ内消

0586

行ハルニテ防止スルノ必要アリト認メラレ、存去ル九
月吾命國ノ際打合ノ部者、依リ概圖左記ノ
範圍燈台ニ於テ懸表スルヲ以テ適宜ト認ム、若
事件ノ懸表ニ関レテハ、名懸名ノ以テ元下ヲ避ケ
關係危者ニ後後等ノ形式ヲ以テスルヲ適宜ト認
料ス

懸表スルキ事件ノ範圍及後方

第一、凶害當時朝鮮人ノ放火ヲ爲シ流言浮説ヲ
流布シ其他井水、毒物ヲ投入シ擄奪強姦等ヲ
爲シタルノ事實見テ認メ目下調査中ナリ
第二、不法行為ヲ爲シタル朝鮮人ヲ除キ一般朝鮮人順
良ニシテ何等嫌疑スルモノ言動アリタルニ非ズ

0587

後ヲ其等ニ對シテ、震災後直ニ由事得ル限リ
ノ手段ヲ尽シテ軍隊警察團體個人等ニ於テ
充分ナル保護ヲ與ヘ適當ノ場所ニ收容シテ食物
其他ノ給與ヲ為シ充分ナル救護ヲ為スニ努メ
ルアリ、且下各方面ニ於テ收容保護ヲ加ヘル
モノ約五千人ニ達ス。

第一、大震災及之ニ引續キテ起リタル大火災ノ當時
民衆ノ昂奮甚ク極ニ達シ各等ニ諸種ノ慌亂ヲ生
シタルニ就テ放火掠奪等ノ現行アリルヲ爲メ或
諸種ノ強解風説ノ爲メ雜踏モ民衆有ク於テ
關係ヲ慌亂ヲ生シ其際一般罹災民ニシテ傷害
ヒラレ者甚クカキ、其中ニ於テ朝鮮人ニシテ

0588'

放火掠奪等、現行其地ノ事情ニ基キ傷害セラル
タル者アルニ見ユ、又災害地ニ接續セル地方ニ
於テ又朝鮮人ノ犯行ニ關シテ盛ニ北風後陸路トシテ
本レル避難民、依リ宣傳セラル民々著ク不長ニ
隔リ其ノ極避難朝鮮人ト百ニ騷擾ヲ生シ傷害
セラレタル者アリ、是等混乱ノ際ニ生ジタル騷擾ノ
果行等ニ付テハ目下極力調査中ニ在ラス
第四、鮮人が放火其他ノ暴行ヲ為ストノ風説止時ニ
震災地及其ノ附近ヲ捲キ極夜ニ目撃當せん人々
ニ非キテ刺戟シ其ノ鮮人ニ對スル疑義戒懸感ノ
念ヲ起シレシカ爲メ、混乱ヲ増大セシメタル事
實ナシ、後本内地在場ノ朝鮮人中ノ一部不良ノ

0589

徳ガ上海揚州方面ノ不逞鮮人トシテ脈ヲ通ジ
内地ノ不逞ノ分子モ之ト連絡シテ専カノ機會ニ於
テ暴逆ノ行動ニ出テムトスル後ハ一割民衆ノ百
信ゼラレタル所ニシテ偶々今四ノ災妻ニ降レ一割
鮮人ノ放火甚ノ他ノ暴行トモ後テ一時人心ノ不
安ヲ増大シ鮮人ニ對スル非常ナル疑惑ノ念ヲ
日々騰セシメラルル所ナラズ。

前記要項ニ依リ慈表要旨草案文ハ別ニ起草スルヲ

甲

0590

(二) 鮮人ニ對スル措置

第一、災害地ニ在ケル鮮人ノ措置

一、官憲ニ於テ保護收容中ノ鮮人
ノ收容方法

一、要視察鮮人其他ノ要注意鮮人ハ之ヲ

一般鮮人ト區別シテ收容スルコト

一、鮮人學生ハ一般鮮人ト區別シテ成ル可ク

少數宛收容スルコト

一、要視察鮮人其他ノ要注意鮮人ハ警

察官署所屬ノ留置場ニ收容シ取調

ノ上時期ヲ見テ解放シ由容疑ノ者ハ

検束シ又ハ之ニ監視尾行ヲ附スルコト

2. 鮮人ニ付スル救療ノ方法

1. 負傷、疾病ニ罹レル鮮人ニ付テハ其ノ
程度ニ依リテ或ハ病院ニ收容シ或ハ
客所ニ於テ或ルハシ隣ノ倉ニテ救療保
護ヲ與フルコト

2. 前項ノ救療ハ之類無料トシ高生会
並ニ十字其ノ他ノ施設又ハ收容所トシ友
善ニ於テ負担スルコト

3. 鮮人學生ニ付スル措置
鮮人學生ハ又前項ノ如ク
督學部ト協議ス
(本項學生ニ付テハ其ノ他ノ
ハ又前項ノ如ク
鮮人學生ニ付テハ其ノ他ノ
措置トシ友善ニ於テ負担スルコト)

4. 既ニ開校セリタルニハ通學セシムルコト

0592

長、未夕聞較セカセカハ、道力一、督自學、初ニ三監
 督之布達者ニハ、夫々授、産ノ土通ヲ請スル下
 4、鮮人労働者ニ対スル要項
 鮮人ニ対シテハ、当分、内出未得ル限リ、労働
 其他、財産ノ金、少、請之労働者ニ対シテハ
 公若事、其業ニ属スル労働及、由、他人労働者
 不、是ノ場合ニ、使用スル下、之各種紹介所
 及、公、英、國、特、等、之、態、中、之、鮮、人、労働者、就
 業ノ便ヲ計ル下、必要ナル場合ニ、依テハ
 高者ニ、教養、及、官、ヲ、配、送、シテ、保、護、ヲ、加、フル下、
 只、一般事業ニ、之ヲ、労働力、不足スル、由、シ、調、査、申、出、シ、之、
 對シテ、鮮人労働者ヲ、使、業、セ、ル、ル、カ、由、シ、

補久也三ト

八、鮮人労働者就業ノ斡旋ハ専ら同地ノ

廳、旅言視ノ下ニ流テ之ヲ行フコト

六、保護收容中ニマラサレ鮮人

保護ノ方法

一、鮮人、在傭者ニ對シテハ此ノ降臨リニ鮮人ヲ

解雇スルコトナキ極意更其ハ已ムコトヲ解

雇スル者ニ對シテハ此ノ可ク救済ノ途ヲ保ス

此三ト

只、災害ニ起因シテ負傷シタル鮮人ニ對シテハ地

方友惠ニ在テ施シテ之ヲ救済スルコト

八、鮮人失業者ニ對シテハ専ら同地ニ在

載シタル方法ニ依リテ労働其ノ他授産ノ途ヲ
講スルコト、

第二、災害地以分ニ於ケル鮮人ノ措置

一、保護ノ方法

現ニ保護收容中ノ者ニ對シテハ第一ノニ準シテ取扱ヒ保護收容セザル鮮人ニ對シテハ第一ノニ準シテ取扱フコト、

二、取締ノ方法

第一ノニ及第一ノニノニ準シテ取締ヲ行フコト、

(三) 收容中鮮人解放ノ時期及方法

第一解放

一般人心沈静シ鮮人ニ對スル危害ノ惧ナキニ

至七從七漸次收完保護ヲ解ク事トシ其際
一方救済産債者ノ救メ其ノ者ノ引取ヲ打合ハシ
ニ任カシ、並ニサレ者ニ付シテ一ツ成職世帯ヲ以テ
其ノ後ニ解救スル事ト、

第三、拘還希性鮮人ニ付ル措置

鮮人ノ拘還ニ付シテ六目下阻止ノ方法ヲ確シシ
テアルモ、現在ニ於テモ拘還可却ニ希性スル者
ハ多ク、以テ輕公鮮人爲救済社ト打合セ、上ニ付テ
得ル事事情アリ且、拘還セ、公ルニ該社上ニ送付
キ者ニ限リ、送付爲還セ、公ルノ下該社請久ル事ト

三

(由) 災害ニ基因スル朝鮮人ニ関スル事件ノ調査

本件ハ警保内ニ於テ各方面ノ調査資料ヲ敏速ニ蒐集シ宣傳資料トシテ良好ナルモノハ速カニ之ヲ各方面ニ配付スルコトニ協定

第一 鮮人ノ犯罪ニ関スル調査

1. 司法處分トシテ檢舉シ得ル犯行ノ調査

2. 殺害セシタル鮮人ニ関スル犯罪事實ノ調査

3. 犯罪事實トシテ明確ナラサルモノト雖其ノ疑アリト

想像シ得ル事實ノ調査

4. 鮮人ノ犯行ニ関スル風評噂言ニシテ特ニ注意ヲ要スルモノノ調査

第二 災害前後ニ於テ鮮人ノ陰謀計画等ニ関

0597

スル調査

ノ 鮮人ノ要視察人ノ要注意人ノ言動ニ於テ容疑

スヘキ事實ノ調査

又 内地人主義者ト鮮人トノ連絡關係ニ関スル調査

第三 鮮人ニ対スル内地人迫害ノ事實ノ調査

附 鮮人ト誤認セラルル内地人及支那人ニ対スル迫害事實

第四 鮮人ノ救護ニ関スル調査

附 鮮人ヲ労働ニ従事セシメタル事實

第五 鮮人問題ニ関スル各方面ノ感想、意向及態

度ノ調査

ノ 内地人ノ一般の感想

ノ 新聞雜誌等ニ現レル論評

ロ一般社会ノ感想態度

ハ特殊階級(社会主義労働運動水平社等)ノ感想態度

ニ朝鮮及在外國人ノ感想態度

ハ朝鮮人ノ感想態度

イ内地ニ於ケル朝鮮人ノ感想態度

ロ有識階級ノ感想態度

ハ一般朝鮮人ノ感想態度

ロ朝鮮及滿州等ニ於ケル朝鮮人ノ感想態度

ハ有識階級ノ感想態度

ロ一般朝鮮人ノ感想態度

ハ在外國人ノ感想態度

0599

内地ニ於ケル外國人ノ感想態度

九 新聞雜誌等ノ論評

十 外王公使節員感想態度

十一 一般外國人ノ感想態度

十二 一般支那人ノ感想態度

十三 朝鮮及支那ニ於ケル外人ノ感想態度

十四 一般外國ニ於ケル論評

第六 解人ノ処置等ニ關スル良好宣伝資料蒐集(宣

員個人ノ救護ニタル美事等ノ類)

第七 餓死シタル解人及保護收容シタル解人

ニ關スル調査

(了)

0600

田部三十四號

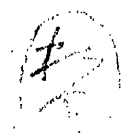
九月五日午前

調査課

非常災害救助情報

東京市災害事務

統務部



東京市

統務部

0601

◎ 救護ニ関スル事項

△ 東京市立小學校職員ニシテ四惟火者左ノ如シ

四谷	赤坂	麻布	世之	京橋	目黒橋	神田	麹町	區名
			二					死
								傷
				四	二			生死不明
一	二	一	七	一	八	一	九	又ハ 自宅 燬壞 失

東京市立小學校職員被害状況調査(九月十九日現在)

救八

0602

△傷病者、救護
 東京市衛生課各救護所に於て十九日中三校
 療三々人員在り如し

計	直管	深川	本所	浅草	下谷	本郷	山石川	牛込
八	一	一	四	一	一	一	一	一
一五	一	一	三	一	一	一	一	一
七九	一	四	三〇	六	四	一	三	一
一三四六	四六	一八二	二四六	一九七	八五	三九	七	二〇

0603

救護所
 市廳
 浅草公園
 浅草
 新宿
 山石川
 甘之
 如菜地
 兩國
 日比谷
 牛込
 神田橋
 半藏門

患者数
 二七
 九七
 一〇〇
 五九
 一四
 四七
 一五七
 一三一
 七一
 一七
 一七
 五七
 一六

救護所
 日本橋
 九段
 石川島
 芝離宮
 茅大
 本郷
 麻布
 佃島
 巡回班
 計

患者数
 一三四
 六九
 三五
 二二
 三五
 四七
 一
 三五
 一七
 一五
 五三

救二

0604

日本赤十字社各救護所ニ於テ十月一日中ニ救療
 三ノル人算左ノ如シ

救護所	外來患者	收容患者	計
第一救護所	二一	一	二二
第二	一九	三	二二
第三	四七	一	四八
第四	三六	一	三七
第五	一七	一	一八
第六	一五	四	一九
第七	一八	三	二一
第八	四五	四	四九
第九	一〇	一	一一
第十	三一	二	三三

0605

右、外十八日	合	第廿五	第廿十	第十九	第十八	第十七	第十六	第十五	第十四	第十三	第十二	第十一
巡	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
回	三											
救	五	八	?	一	一	八	九	八	一	一	九	三
護	四	五		四	四	三	一	八	四	四	六	〇
班	一											
三	二											
班	二	一	一	一	一	三	九	一	七	一	一	〇
三	三											
救	三	八	?	一	一	八	〇	八	七	一	九	三
療	六	五		四	四	六	〇	八	四	四	六	〇
シ	八											三
タ												三

救
了

0606

ル者計三四三人アリ

△日比谷公園内炊出

日比谷公園ニ於ケル十九日ノ炊出ハ左ノ如シ

一玄米 八俵

一牛肉罐詰 三打

一梅干 三ツツリ何宗

(握飯一ツツリ何宗)

一海軍用食パン十箱

結集人算約一五ツツリ人

右ノ外ニ施米七俵

結集人算約一四ツツリ人

0607

臨濟給水状況 (九月三十日)

行政 区別	給水場所 及名称	自給車馬車 水給別	給水 回数	見積水 量
〃	三ノ輪堤	〃	一	一 二
〃	田中町	〃	一	一 三
〃	浅草町	〃	二	二 六
〃	三味線場出立下	〃	四	三 九
〃	浅草区役所	〃	二	二 六
〃	浅草町	〃	一	一 八
〃	橋場町	〃	二	三 六
〃	山谷町	〃	一	一 八
〃	玉姫町	〃	一	一 八
浅草	富士山学校	自給車	一	一 八 石

枚
4

0608

下谷	神田											
下谷区役所	大谷町	佐久間町	和泉町	橋場附近	栄久町	鎌首区役所	三竹町	神吉町	鳥越町	菅原堤	地方令産所	田中町
自転車	馬車	"	自転車	水船	馬車	自転車	"	馬車	"	"	"	"
七	一	三	五	一	一	七	一	一	一	一	二	二
四	二	二	一	一	四	二	六	六	二	二	四	四

0609

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
古間 堀	東元 町	八幡 止則	古石 堀町	黒江 町	洲崎 町	三光 町	〃	高輪 台町	〃	〃	〃	〃	菅長 研究所
〃	自動車	〃	〃	〃	陸軍 自動車	〃	自動車	陸軍 自動車	陸軍 自動車	自動車	〃	〃	〃
一	二	四	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	二
二〇	四〇石	一九石 三斗	七石 三斗	〃	九石 大斗	二四	一	一	一	一	三石 大斗	二	四石

枚
5

0610

”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”
森下町	西元町	御舟藏前	安宅町	富山町	西町	东大正町	鎌江直衣町	鎌江瓦斯会社	鎌江小学校	直衣大工町	西平野
”	”	”	馬車	”	”	”	”	”	”	”	”
=	-	=	=	四	三	=	=	=	=	=	=
八	四	八	八	四	三	二	二	二	二	四	四
				八	大	四	四	四	四	b	〇

0611

" " 諸位 公園 二十四者
 " 洲崎町附近 十二石

△臨時市場及巡迴市場ノ状況

過日來南設不定地ナリニ日比各公園ノ臨時
 市場設市場ハ十八日ヨリ南設ニ下各車坂
 神田和泉所及須田町ハ目下南店準備ヲ
 急キツ、アリ、
 巡迴市場ハ其後一日ニ台乃至四台、自動車
 三、上野、二重橋前、兩國、須田町、下各七軒
 町、下各金杉方面ニ巡迴南設セリ、

0613

⑤ 工務三関スル事項
 △ 市内花川障得物除却其他工事現況
 完成之部

河川名	工	種	完成區域	完成月日	橋
大川孤川	相生橋 新橋 作業	全	川	九月十九日	要

一部抜却之部

河川名	工	種	抜却區域	抜却月日	橋
花見川筋	障得物除却	至白川 至中田 筋下流	九月十九日	安藝橋 整理作業能續(小橋)	要
大島川筋	"	至白川 至福川 筋橋	"	整理作業能續(小橋)	要

0614

工事中

河川名	工	種	工事個数	橋	要
大島川筋	除障物	却	黒岩橋	整	理
油尾川筋	ク		午鳥橋	一	業
仙道堀筋	〃		亀久橋	〃	中
外環川筋	〃		一ツ橋	〃	

追々相生橋切断、八月島側より古番目、互商ラ切断、軌條鋪
 装表擬土ヲ除却セルニ依リ曳船ノ通行支障ヲ免ルニ

0615

① 電気関係工事

△電車運転系統一部変更

運転系統三ノ

中環谷ヨリ青山、大目、大本木、飯倉
一丁目、上段ノ門、横田門、日比谷ヲ至テ如原
地ニ至ルニ変更ス

運転系統八ノ、環谷ヲ、中環谷ト改ム

△運転開始(三日)

本日左表区間、運転ヲ開始ス

一日比谷—築地間

①

0616

△運輸時間延長

一 市内各線、運輸時間左記通り三十日ヨ

リ延長セラレタリ

一 午前五時ヨリ午後九時迄

一 飛鳥山線 午前六時ヨリ午後七時迄

以上

0617

一山梨縣赤穂町震災火救護団三十名四谷に於て救護ニ従事

一不図市救護団聯合會百六名八洲崎に於て火災救護ニ従事

一山口縣美祿郡青年團三十名浅草小学校に於て焼跡ノ救護ニ従事

② 工務ニ関スル事項

△市内柱川障碍物除却其他工事現況

一 一部竣工一部

河川名	工種	竣功区域	竣功月日	備考
大島川 西文川 知助	航路開通	自橋自島橋 至左橋上流至平田	九月廿日	
神田川 竹助	仮橋整理	万世橋 下流	〃	航路仮橋整理完成

仙公島川筋
 軌踏却用キ
 龜久橋
 〃
 整理作業完成

工率中ノ部

河川名	工種	工事箇所	橋
大島川筋助	航路障害物除去工事	黒船橋	整理作業継続
田堀川筋助	〃	牛島橋	〃
源森川筋助	〃	小梅橋	〃
外瀬川筋助	〃	廻橋	〃
平久所川筋助	〃	至自川口	〃

尚ホ月島渡船場橋架設工率ニ着目ス
 但シ在田所ニ於テ再整理施行中ノモアリ

0619

才郷	一四四	一一八三	七八
下谷	三八	三三八	三五
深草	四一	二一一二	四五
市牛山	四一	四一〇	三五
直岩川	五七	四二八	六〇
宮本郷	大ニ	四三一	六一
合計	一〇〇四	八五〇五	二〇〇二

尚本表外深川匠八人夫四人八十荷、高橋匠人夫八人ヲ以テ百荷ヲ搬出セリ

此汲取荷数八千六百八十五荷三千四百七十四石
備考 便役人夫一〇印ハ應撥困人負ナリ

△傷病者救護

B

東京市各救護班ニ於テ二十日中ニ救療シテ

一人負在ノ如シ

自九月一日 一五、五四五

至九月十九日 六、六八四

十月二十日 一七、三三九

△各地方ヨリ來援セシ青年團ノ活動（九月二十日）

新聞報後各地方ヨリ來援セシ青年團ノ状況左ノ如シ

一、山口縣豊浦郡青年團二十五名ハ該草区至姫野附近ニ

演習ノ取方付後本所正太平山學校ニ於テ四倍突夫、

於此護ニ從事

一、旭川青年團三十名ハ市役方面ノ四倍突夫者ノ調査ニ從事

一、宮城縣登米郡青年團三十名ハ四倍突夫者ニ於テ救

護ニ從事

一、宮城縣玉野郡青年團十三名ハ明沢町官外

に於テ食糧運搬ニ從事

0621

大正十一年
 関東大震災後
 報後
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

神田	三〇、六四〇	焼却	岩川	二一、八四〇	焼却
日守橋	四七、六〇〇	〃	本所	三七、五一〇	〃
上野	一	〃	下谷	三七、七八〇	〃
本所	三、三六〇	焼却	浅草	二一、〇三〇	〃
芝	一四、六七〇	〃	本所	四、三〇〇	〃
本所	一四、四一〇	深川埋立地	深川	三、六四〇	〃
赤坂	七、九八〇	焼却	市道堂市 蔵所附近	六、四八〇	〃
四谷	一八、二七〇	低地埋立	合計	一八、六八五〇	〃
半八	一四、〇六〇	焼却			

0622

△龜崎康原丞取作業(九月十九日)

庄名	搬出回数	取荷数	使役人
龜崎	八〇	六七六	八六
神田	一	一	一
日本橋	一〇	四九	六
京橋	一	一	一
芝	九	六八	七
旗布	七	七五	九
孟	六	四五	六
田	六	六七	七
半	一〇	七九	九
山	二	四七	四
石	二	七	八

0623

第_二一〇〃 第_二〇〃 第_九〃 第_八〃 第_七〃 第_六〃 第_五〃 第_四〃 第_三〃 第_二〃 第_一〃 第_九〃

八_八? 一_五二 二_八〇 一_〇三 九_三 一_八三 一_六五 七_二 九_一 甲_四二 三_四七 一_〇七

| | | | | 〇 八 八 | | 五 | |

一_一 二_一 一_一 一_一 一_一 一_一 一_一 一_一 一_一 一_一 一_一 一_一 一_一

八_八? 五_二 八_〇 〇_三 九_七 九_一 七_三 七_二 九_一 甲_四七 三_四七 一_〇七

0624

尚巡回救護班
 第一班 吉原土手及富土十摩校附近
 第二班 上根岸十摩夜上野公園附近
 第三班 八虎内跡赤坂見附清水谷公園附近
 第四班 市内各所巡回救療セリ

	第一班	第二班	第三班	第四班	巡回
計	四	三	二	一	
	班	班	班	班	
四	一	三	八	八	九
	一	一	一	一	
	三	一	一	一	
四	二	五	八	八	九
	一	六	二	二	九

0625